

- 【法人事業目的】 地域の Well-being（幸福、幸福な状態）  
【法人事業ビジョン】 地域に必要とされる「人生応援」と「まちづくり応援」

## 第11期（令和4年度）公益財団法人星総合病院 事業報告

（令和4年4月～令和5年3月）

【今期の基本方針】 地域の Well-being にむけた「共創・協働」の基盤づくり

～職員（企業）の Well-being が 地域の Well-being を <sup>つくる</sup>創造・伝える・繋がる～

【今期の重点目標】

### ◎生き方・働き方の質（職員の Well-being）

#### 1. 職員が自分の Well-being と向き合い、自分らしい質の高い働き方の共創・協働

- 1) 職員が心地よく生きるために「職員同士が伝え合い、わくわくする」職場風土の共創
- 2) 他者とのつながりから自分らしくいられる「サードプレイス」の推進と職場環境の共創
- 3) Well-being にむけた仕事の質が高まる働き方と新たな職場空間の共創・協働

### ◎医療・介護の質（いのちと健康の Well-being）

#### 2. 新たな医療・介護機能等にむけた地域との共創・協働

- 1) 急性期病院機能の差別化（精神科機能含む）と他医療機関等との共創・協働
- 2) 地域の感染症対応システム及び教育システムの構築にむけた行政・医療機関との共創・協働
- 3) 地域特性に応じた健康で暮らしやすい地域システムづくりの共創と高度有資格職者の活動推進

### ◎関係の質（地域力の Well-being）

#### 3. 新たなまちづくりにむけた地域との共創・協働

- 1) 大町地域等の地域力が発揮できる基盤づくりと星ヶ丘地域の新たな開発計画にむけた共創・協働
- 2) 田村地域における子どもからおとなまでが心地よく生きるための行政、及び他機関との協働
- 3) 地域力を引き出すための「地域で働く新たな医療職者」と異業種との協働によるまちづくりの共創

### ◎経営の質（企業の Well-being）

#### 4. 新たな企業価値にむけた事業継続のための共創・協働

- 1) 新たな価値観や変化に対応できる組織力による中長期的人材育成と働きたくなる組織づくり
- 2) BCP とリスク管理、諸規程の整備、SDG s の取り組み
- 3) 各施設・事業の顧客及びサービスの創出にむけたブランディングと新たな情報発信
- 4) 中長期的事業計画に応じた財務・資産管理計画と寄附計画の整備

## 【事業本部】

### <通常事業>

- ・ 4月 厚生労働省の看護職等処遇改善事業の施策に基づき、法人における対象職種に処遇改善手当の支給について検討した。この処遇改善を新採用情報に反映させ採用事業を行う。
- ・ 4月 新入職者オリエンテーションを実施し、法人理念や施設概要の他、新人研修として今年度ほしくまファームを活用したグループセッション計画を説明した。
- ・ 4月 看護師特定行為研修の指定研修機関として①創傷管理②ろう孔管理③栄養と水分管理に係る薬剤管理④精神と神経症状の薬剤管理のほかに今年度から⑤感染に係る薬剤管理の区分が追加となり開講した。(受講者 20 人のうち 4 名は他施設)
- ・ 4月 「Well-being start up プロジェクト」を法人に設置し、若手職員を中心に年間における職員の Well-being 活動の企画、及び実施していく。
- ・ 4月 星ヶ丘キャンプ場等設置プロジェクトを法人に設置し、瓜坪池キャンプ場整備計画（第一期計画）を策定し、事業準備を進めていく。(事務局 星ヶ丘病院)
- ・ 4月 こども事業部主催の職員のための子育て応援プログラムを企画する。(年間 18 回)
- ・ 5月 令和 4 年度より職員向け広報誌「RURURU」をリニューアルし、カラーで見やすいと好評を得た。今後、掲載内容も随時検討する。
- ・ 6月 看護師特定行為研修を修了した職員にバッチを配布し、チーム医療を推進するため装着を開始した。
- ・ 7月 開設 97 周年記念式典をメグレスホールと WEB 配信にて開催した。永年勤続表彰 125 名、新設したベストパートナー賞 1 名、ベストトレーナー・トレーニー賞各 3 名、特別表彰 1 組を表彰した。
- ・ 7月 Well-being start up プロジェクトにて、職員対象にワクワク度アンケートを実施して 878 件の回答があり、結果を職員ホームページに掲載した。
- ・ 9月 Well-being start up プロジェクトにて、法人職員対象に睡眠実態調査アンケートを西川株式会社に依頼し実施した。(約 720 名参加)
- ・ 9月 Well-being start up プロジェクト会議にて、職員対象に「わくフェス」を 10 月から月 1 回開催し、職員が自分の楽しみを見つけ、繋がることを目的とする。
- ・ 9月 星総合病院 Instagram 開設にむけ、端末や情報登録の準備、及び予算について起案し、10 月開始を目指してメンバー内でのシステムを確認した。
- ・ 10月～12月 Well-being start up プロジェクト主催で「わくフェス」を星総合病院職員玄関付近にて開催し、7 ブースにて職員が楽しめるように販売やモノづくり体験をした。
- ・ 10月 初期臨床研修医採用内定者 8 名が決定した。平成 30 年度から 5 年連続フルマッチングで、県外の応募者もいたが、全員が福島県立医科大学出身となった。
- ・ 10月 10 月新設の看護職員処遇改善評価料に則り、看護職員の夜勤手当の増額、急性期夜勤体制手当及び救急夜間体制手当を新設した。また、星総合病院の救急指定日にコメディカル等の夜勤者についても夜勤手当を増額した。
- ・ 11月 睡眠実態調査アンケートに回答した職員に個人レポートを配布し、自分の睡眠傾向について知った。全職員対象にオンデマンド配信にて快眠セミナーを行った。
- ・ 12月 睡眠実態調査アンケートの職種別分析データを西川株式会社から報告を受けた。西川株式会社主催の「ねむりのワークショップ」に 13 名が参加した。
- ・ 1月 手術支援ロボット「Mako」を使用した手術が 200 関節に到達した。実績報告の文書を作成し病院ホームページへ掲載、連携医等への配布を行った。
- ・ 2月 法人の情報を正確でリアルタイムに発信できるよう、ホームページの担当部署一覧を作成した。また最新医師情報掲載方法について、関係部署と協議の上決定した。
- ・ 2月 令和 4 年度 2 回目（セミナー実施後）の睡眠実態調査アンケートを実施し、223 名の回答があった。3 月に睡眠実態調査アンケート結果を西川株式会社から分析報告を受け、不眠症の疑いが高い人が 1 回目よりも 5.9%減の 30.9%となった。

- ・ 3月 アフターコロナの診療体制整備、地域医療の拡充、新複合施設事業の推進など中長期的展望として専門職等の活躍の場を広げるため、令和5年度4月からのベースアップを理事会で検討した。
- ・ 3月 星総合病院 Instagramの次年度における運用について検討した。担当の固定化を行い、各部門に協力を依頼し、投稿数・メッセージ内容をブラッシュアップしていく。

#### 【感染管理認定看護師教育課程運営準備】

- ・ 6月 福島県「感染管理認定看護師教育課程設置運営業者」の新事業公募にむけ法人内各部署で協議し公募申請の準備を行う。
- ・ 7月 「感染管理認定看護師教育課程設置運営業者」として選定され、福島県と詳細について検討を開始した。
- ・ 8月 感染管理認定看護師養成課程（B課程）準備室体制を整備し運用を開始した。県立医科大学が運営支援業務を行うため、県立医大との打合せを開始した。
- ・ 10月 郡山市保健所と感染管理認定看護師養成課程についての情報共有を行い、市の感染管理認定看護師重点育成支援事業について情報を交換した。
- ・ 11月 感染管理認定看護師教育課程を内包する高度専門教育センターを開設した。
- ・ 2月 感染管理認定看護師教育機関として申請し、日本看護協会審査会にて正式に認定された。
- ・ 2月 病院ホームページに「高度専門教育センター」の新規ページ作成と院内広報誌で特集し院内外へ感染管理認定看護師教育課程の情報発信を行った。
- ・ 3月 感染管理認定看護師教育課程は出願書類受付開始となる。教育環境の整備と渉外促進のため、教員室をポラリス保健看護学院3階へ移設した。

#### 【ほしくまあんしんベース船引】

- ・ 4月 田村市地域包括支援センター（船引地区圏内）、訪問看護ステーション、地域交流スペースからなる複合施設「ほしくまあんしんベース船引」地鎮祭が船引町地内で行われた。
- ・ 6月 たむら市民病院3階に田村地域包括支援センター開設準備室を設け2名配置した。
- ・ 6月 田村市における訪問看護ステーション開設予定であることを、県中保健福祉事務所に相談し、サテライトを有しない単独開設を目指し申請準備に着手することとした。
- ・ 7月 田村市地域包括支援センター運営協議会にて、田村市から委託を受ける地域包括支援センター名称を「田村市ふねひき地域包括支援センター」と確定する。
- ・ 8月 地域包括支援センター指定介護予防支援事業所の指定を受けた。
- ・ 8月 訪問看護ステーション指定申請を提出した。
- ・ 9月 「たむらあんしんベース船引」のパンフレットとホームページを作成した。
- ・ 10月 ほしくまあんしんベース船引の開所式を行い、正式に「田村市ふねひき地域包括支援センター」「星訪問看護ステーションたむら」が事業を開始した。

#### 【大町新複合施設開設準備事業】

- ・ 4月 大町新複合施設事業の準備室として大町1丁目に「ほしくまわくわくベース」を開設した。新複合施設事業のプレ事業としてサービス内容の検討・開発を行う。
- ・ 4月 乳児院の事業及び建設計画整備にむけて、令和4年度整備計画に基づき福島県と協働しながら進めていく。
- ・ 4月 6月から既存建物の解体工事に着工することを踏まえ、周辺10自治会長を対象とした「大町新複合施設建設事業概要説明会」を開催した。6自治会7名が参加した。
- ・ 5月 旧星総合病院既存建物解体工事指名競争入札（3社）の結果、鹿島建設株式会社東北支店が落札した。6月より解体工事に着手し、令和5年3月末の完了を目指す。
- ・ 5月 旧星総合病院既存建物解体工事に関する地域住民説明会を開催し、周辺自治より代表者等6名が参加した。
- ・ 6月 大町新複合施設建設について、鹿島建設(株)と(株)日建設計、当法人の3社でECI協議を開始した。7月末までの2ヵ月間でVE（バリューエンジニアリング）について検討する。
- ・ 5月 大町新複合施設建設ECI技術協力者選定プロポーザルに係る選定委員会を開催し、総合評価により鹿島建設株式会社東北支店を選定した。
- ・ 8月 鹿島建設(株)と(株)日建設計、当法人の3社によるECI協議が完了し実施設計に着手した。12月末に完了予定である。

- ・ 10月 大町新複合施設のレストラン事業について、宇都宮市の㈱オトワコーポレーションと事業全般に関するアドバイザー業務委託契約を締結した。契約期間は令和7年の事業開始までとした。
- ・ 11月 郡山市が取り組みを始めた「こおりやま公民協奏エリアマネジメント」事業に関して、大町新複合施設事業の内容を踏まえ、郡山市都市政策課担当者と意見交換を行った。今後、大町地区の活性化に向けて新複合施設事業との連携を前提に協力関係を構築する。
- ・ 12月 大町新複合施設に係る各事業におけるコンセプト、内容、収支見込等について共有し、事業のブラッシュアップにむけてディスカッションしていく。
- ・ 12月 ㈱日建設計に委託していた大町新複合施設の実施設計業務が完了した。同時に、施工予定社である鹿島建設㈱に対して積算業務を依頼した。3月に実施設計図書に基づく見積書の提出を受ける。
- ・ 12月 大町新複合施設開設に係る事業計画、及び収支計画立案むけて組織体制を見直し、施設全体の事業戦略を立案する。
- ・ 12月 大町新複合施設に予定している認可保育所について、保育所部分の建設費に対する補助金申請に向けて郡山市こども部こども政策課担当者と協議を行った。令和5年4月の申請に向けて引き続き協議を行うこととした。
- ・ 1月 大町新複合施設で行う各事業についてアドバイザーとワーキンググループとで打合せを行い事業計画と収支計画の初期策定を行った。
- ・ 2月 阿邪訶根神社集会所にて大町新複合施設建設事業に関する「地域住民説明会」を開催した。地域住民並びに事業所及び地元自治会関係者を中心に37名が参加した。
- ・ 2月 新複合施設準備室員と事業アドバイザー間で事業コンセプトや内容のブラッシュアップにむけた業務委託の範囲や進め方について協議を行い、3月から開始する。
- ・ 3月 大町新複合施設建設工事について、施工業者の鹿島建設(株)からECI協議を経た最終的な工事見積金額の提示を受けた。建設資材等の高騰を受けて当初の予算額より大幅な増額提示であったが、今後更なるCD(コストダウン)の検討を条件として建設工事を進めることとした。
- ・ 3月 令和4年6月から行っていた旧星総合病院既存建物の解体工事が3月末で完了した。
- ・ 3月 大町新複合施設に整備予定の福島県乳児院について、鹿島建設(株)が算出した乳児院部分の建設費算定資料を福島県に提出した。今後、提示した工事費の妥当性を検証する。
- ・ 3月 大町新複合施設に予定している認可保育所について、郡山市こども部こども政策課へ保育所部分の建設費に対する補助金申請を行い、正式に補助事業として採択された。
- ・ 3月 大町新複合施設事業に係るUDS(株)にアドバイザー業務を委託し、各事業、及び施設全体のブランディングをしていく。

## 【子育て応援事業(職員)】

月	事業内容	対象	参加者数
4	防災ヘリ訓練を親子で見学しよう	親子	36名
4	ウルトラマンに会いに行こう	親子	22名
5	ミニSLがやって来た 乗ってみよう	親子	18名
5	玉ねぎ染めを楽しもう	親子	コロナ対策で中止
6	食育体験教室 ピザ作り	親子	31名
6	リベンジ 目指せ 片曾山	親子	19名
6	食育体験教室 ピザ作り	親子	31名
6	リベンジ 目指せ 片曾山	親子	19名
7	目指せ ファーム博士	親子	19名
7	カワセミ水族館&魚釣り	親子	コロナ対策で中止
8	あぶくま洞探検	親子	コロナ対策で中止
9	アウトドアクッキング	親子	15名
10	スケート教室	親子	10名

10	子育て講座 「食物アレルギー」	一般・職員	18名
10	公開講座 「笑い与健康」	一般・職員	80名
11	木工教室	親子	コロナ対策で中止
11	ローソクづくり	親子	コロナ対策で中止
12	危険予知講座「災害からの学び」	職員	24名
12	クリスマスリースづくり	親子	12名
1	伝承遊び・凧あげ等	親子	13名
1	デコ屋敷へ行ってみよう	親子	9名
2	陶芸教室	親子	27名
3	ザ・ムービー&スライム	親子	20名

## 【食育・キッチンカー事業】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
件数	12	12	15	16	10	15	20	13	7	8	6	8	142
販売数	679	661	950	885	473	700	1,575	1,188	368	515	219	309	8,522

## 【SNSによる情報発信】

YouTube	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
投稿数	4	4	4	3	4	4	4	4	6	3	5	6	51
Instagram	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
星総合病院	-	-	-	-	-	-	11	9	9	4	7	6	46
星栄養科	3	1	3	2	3	2	2	4	5	3	5	4	37
キッチンカー	14	15	18	15	11	17	20	17	12	12	9	15	175
美ラボ	1	2	1	0	2	1	0	1	2	0	0	0	10
わくわく	23	25	15	11	16	29	41	41	47	54	39	28	369
ファーム	6	9	9	2	4	4	2	1	1	0	0	1	39

## 【星総合病院】

### ＜新型コロナウイルス感染症対応＞

- ・ 4月 令和4年度診療報酬改定は感染対策が重視された内容となり、地域の感染対策を主導し、医療機関との連携や定期的なカンファレンス、新興感染症発生を想定した訓練を実施する「感染対策向上加算1」の項目ができ、施設基準として申請した。
- ・ 5月 新型コロナ感染症が拡大しており、5月以降も当院と総合南東北病院は感染症陽性患者で自宅療養者の症状増悪の場合、夜間帯に診療対応することとした（当院は月、水、金曜、第2、4日曜日担当、郡山市内の自宅療養者が100名以下になるまでを目安）。
- ・ 6月 郡山市と郡山市民の4回目接種の日程を協議し、7月11日より集団接種会場として1日約360名接種することとした。また、福島県よりノバボックス社を使用したワクチン接種の実施を依頼され、7月3日間、8月、9月も各4日間実施した。
- ・ 7月 当院感染対策室は郡山市保健所と今年度の診療報酬改定の感染対策である「感染対策向上加算1」について協議し、双方の役割について意見交換した。当院は8月より4回定期カンファレンスを開催し、3月は防護具着脱訓練を含む合同訓練を実施予定とすることを伝えた。
- ・ 7月 郡山医師会と当院、総合南東北病院、太田西ノ内病院の3医療機関は7月28日に「感染危機管理対策特別委員会」を開催し、感染対策向上加算に係る医師会の対応を協議した。今後、郡山医師会が中心となり郡山市内の診療・検査医療機関（診療所）95ヶ所の意向を確認し、3医療機関と連携した感染対策体制を構築していくこととした。
- ・ 8月 感染対策室は感染症対策を学び感染症施策の推進を図るため、厚生労働省 厚生科学審議会委員の岡部 信彦先生を講師にテーマ「我が国における新型コロナウイルス感染症対策について」で特別講演会を開催した。特別講演会には、当院診療部は医局会としてメグレズホールに出席し、また、地域の関連医療機関等にはweb配信をした。
- ・ 8月 当院感染対策室主催で、感染対策向上加算に係る合同カンファレンスを開催した。第1回は活動目標の確認と顔合わせ等を行った。合同カンファレンスには加算2、3の医療機関と連携診療所12ヶ所、及び郡山市保健所長が出席した。
- ・ 9月 郡山市とオミクロン株対応ワクチン接種の実施について打合せをした。9月26日より、郡山市の集団接種会場としてメグレズホールで4回目ワクチン接種の方を対象に1日約360名接種する。
- ・ 11月 新型コロナウイルス感染症患者数の増加でフェーズ2→3となり、当院は即応病床32床で対応した。入院患者の罹患者も多く、30日、1ST病棟は30名の入院受入れになった。
- ・ 11月 新型コロナウイルス感染症の施策で各種補助金等の申請が適切に実施されているかを確認するため、福島県より病床確保支援事業（令和2年、3年度分）の自主点検の依頼があり、確認後報告した。
- ・ 12月 企業と住民のワクチン接種と進めるため、11月と12月に流通業者と専門学校を対象にオミクロン株対応ワクチン職域接種をメグレズホールで約2,000名に実施した。
- ・ 12月 郡山医師会、及び郡山市保健所主催で、郡山医師会会員を対象とした新型コロナウイルス感染症第8波に備えた「感染症対策研修会」が開催され、循環器内科医長 中村先生は「入院医療機関における診療について」を報告し、情報交換した。
- ・ 2月 5月8日より、新型コロナウイルス感染症は2類相当から5類になる中で、福島県や郡山市と確保病床数やワクチン接種の実施体制について意見交換した。
- ・ 3月 感染対策向上加算に係る第4回目の合同カンファレンスを開催した。参加者は「新興感染症等対応シミュレーション訓練（着脱訓練）」を行い、また、希望者は「N95マスクのフィットテスト」を実施することにより、課題を確認することができた。また、来年度のカンファレンス開催に向けて意見交換をした。
- ・ 3月 5月8日より、新型コロナウイルス感染症は5類になるが、郡山市は重症化予防として、高齢者、及び基礎疾患を持つ方を対象にワクチンの集団接種を実施することとし、当院はメグレズホールで集団接種を実施することとした。

## 【PCR検査数】

前年度実績：19,225件

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
1,551	1,901	1,789	1,738	3,324	1,977	1,852	2,189	2,141	1,921	1,473	1,511	23,367

## 【コロナワクチン接種 月対応数】

前年度実績：77,948件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
郡山市集団接種	3,274	497	891	2,607	4,542	3,354	1,614	3,904	4,325	1,804	250	73	27,135
法人医療従事者等	60	0	96	20	504	98	4	46	370	0	0	0	1,198
高齢者施設等	0	0	0	0	0	51	0	0	171	0	4	0	226
高齢者施設従業員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個別接種	151	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	151
小児接種	75	162	147	68	49	39	15	36	90	53	39	53	826
職域接種	441	546	430	1	0	0	0	1,464	532	0	0	0	3,414
県委託モデルナ	2	5	1	57	73	71	57	53	0	48	90	100	557
県委託大規模接種	247	215	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	462
合計	4,250	1,425	1,565	2,753	5,168	3,613	1,690	5,503	5,488	1,905	383	226	33,969

## 【COVID-19入院対応】

前年度実績：349件

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
36	18	5	21	61	19	28	58	50	46	20	6	368

## &lt;通常事業&gt;

- ・4月 運営会議にて令和4年度の事業計画を確認した。今年度、循環器内科部長の赴任と総合診療科医師配置を踏まえ内科診療体制の構築、手術支援ロボットを活用し、急性期病院機能の構築を図ること等を確認した。また、「オンライン診療導入準備プロジェクト」の進捗状況を報告した。現在、数社のシステム内容を確認し、今後、医局会等に報告し、運用方法を検討する。今年度中に運用開始予定とする。
- ・5月 第62回 地域医療支援病院運営委員会を開催した。紹介患者数、救急患者数以外に心不全プロジェクトチーム作成の「心不全手帳」を配布し、活動内容を報告した。出席委員は「心不全手帳」や循環器内科医師赴任等に非常に関心が高かった。
- ・5月 児童精神科 本間医師が講師となり、「発達障害のお子さんを持つ親の塾」を6回コース、オンラインで開催することとし、21日に第1回を開催した。当事者の親や支援者等11名が参加した。
- ・6月 2つの手術支援ロボット「ダビンチ」と「メイコー」の導入にて6月の広報紙「懸虹」に泌尿器科部長と股関節人工股関節センター長より機器の特徴等を分かりやすく記載し、案内した。
- ・6月 クリニカルパスは6月に新規パスが2件運用開始になり合計で51件になった。6月のパス適用率は26.06%（前年同月22.91%）であった。
- ・6月 郡山地域連携協議会に入退院センター員が出席し、地域連携パスの運営状況を確認した。当院は脳血管疾患、大腿骨頸部骨折等の対象疾患入院患者は回復期リハビリ病院等にスムーズに転院していることが報告された。
- ・6月 病院モニター会議を開催した。第1回目であり、最近の病院の運営状況、及び中央検査科の業務内容等を説明した。委員は新型コロナウイルス感染症の中央検査科の迅速対応と24時間検査体制等への関心が高く、病院運営の理解を深めた。
- ・6月 医療従事者の働き方見直しの一環として土曜日の外来診療の休診を進めており、院内の環境も整い、運営会議で第三土曜日の休診を確認した。郡山保健所及び東北厚生局に連絡し、7月より実施する。なお、一部の診療科（児童精神科）は予約者のみ診療する。
- ・7月 「総合連絡会・業務改善委員会・業務分担推進委員会」に病院長が出席し、タスクシフト等の進捗を確認した。診療放射線科技師は核医学検査の静脈への装置を接続・操作・終了後の抜針及び止血、造影剤注入装置を接続時の静脈確保等の実技研修に多数参加した。

- ・ 7月 看護部において臨床倫理の啓発、啓蒙をするために病院長による「臨床倫理」に関する講義を企画し、実施した。
- ・ 8月 循環器内科、及び心臓血管外科において循環器疾患の治療対象患者が増加しており、9月1日付けでインペラ補助循環器用ポンプカテーテルの施設基準を申請した。
- ・ 9月 郡山消防本部との共催にて、救急医療週間イベント「救急ふれあい広場」をメグレスホールで開催した。シンポジウムを演題「救急の現状とこれからの地域医療」で、座長を田勢救急科部長が務め、4消防本部等が活動を報告した。また、心肺蘇生法講習会等も実施した。
- ・ 9月 福島県消防防災航空隊より、防災ヘリによるエクモやIABP（大動脈バルーンポンピング）装着患者の搬送訓練を実施するため、当院屋上ヘリポート使用の依頼があった。当院医師、臨床工学技士、看護師等が参加した。
- ・ 9月 当院の機能として「急性期充実体制加算」の施設基準取得の準備をしており、9月、RRS委員会を開催し、また、10月、RRS研修会に診療部と看護部より参加する。
- ・ 9月 「オンライン診療導入準備プロジェクト」はプロジェクト会議を開催し、診療部員の意見を踏まえ、システム選定を実施した。準備に約1ヶ月程度かかるが、遠方より来院する「心不全」患者等で病院長が診療する患者より開始する予定。
- ・ 9月 11月の「緩和ケアPEACEプロジェクト研修」開催の準備をする。郡山市内、及び県内医療機関より7名と当院臨床研修医等26名の計33名の申込みがあり、準備をする。
- ・ 10月 当院の手術支援ロボット「ダビンチ」の使用を拡大するため、福島医大消化管外科学講座より1名の常勤医師が赴任した。10月24日より消化器外科患者のダビンチ使用を開始した。
- ・ 11月 当院主催「緩和ケアPEACEプロジェクト研修」を開催した。当法人内22名、法人外14名の計36名が参加し、緩和ケア医療の重要性を認識した。また、今回で緩和ケア病棟の看護師は全員研修会を受講した。
- ・ 12月 当法人は、福島医大（神経精神医学講座）と寄附講座を実施することとなり、令和5年度より新たに精神科医師が精神科及びもの忘れ外来診療等を実施することになる。
- ・ 1月 運営会議では、当院の機能として「急性期充実体制加算」の施設基準取得の準備状況と令和5年度事業計画（案）について確認した。24時間の救急医療提供「救急搬送患者の入院3日以内の入院精神療法」の実施件数が増えていることを確認した。
- ・ 2月 手術支援ロボット「ダビンチ」の手術件数が導入後100例となった。「ダビンチ」は出血量が少なく身体に負担が少ないことより、今後も計画的に実施をする。
- ・ 3月 手術支援ロボット「ダビンチ」は16件、「Mako」は33件で手術件数は442件となり、月の手術件数は過去最高になった。
- ・ 3月 「医師の働き方改革」に合わせて、コメディカル職員のタスクシフトの告示研修の参加を推進しており、臨床検査技師の受講者は6名、診療放射線科技師の受講者は29名になった。また、特定行為研修の受講者は66名になった。
- ・ 3月 12月より当院医師の「日、当直に関する書類」を労働基準監督署に相談、打合せをしていたが、今月受付となった。今後も当法人委託の社会保険労務士法人TMCや関係機関と協議し「医師の働き方改革」を進める。
- ・ 3月 医師事務作業補助者の配置を見直し、令和5年度より医師事務作業補助体制加算の施設基準を25対1から20対1に変更し、医師の負担軽減と処遇改善を推進する。

【平均外来患者数（上段）と平均入院患者数（下段）】

前年度実績：平均外来患者数 645.8名、平均入院患者数 293.6名

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
614.4	650.4	619.7	660.8	661.6	702.6	665.0	682	671.5	677.4	651.2	684.3	661.7
274.2	271.8	270.9	279.7	260.0	250.9	258.4	266.0	274.7	267.7	275.5	272.3	268.4



## 【急性期一般入院基本料要件の重症度、医療・看護必要度】

(上段 基準 28%以上)、平均在院日数:(中段基準 18 日以内)、ICUの重症度、医療・看護必要度 (下段 基準 60%以上)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
45.2	44.1	44.0	43.3	42.5	42.6	41.7	42.2	42.4	42.4	42.4	41.9	42.8
12.8	13.0	12.3	13.5	12.9	14.1	14.9	14.3	13.4	13.9	13.3	13.0	13.5
79.3	79	64.4	75.2	63.7	60.3	82.1	79.7	75.1	76.3	81.2	83.1	74.9

## 【救急動態】 上段：総受診者数、中段：救急搬送数、下段：郡山消防本部救急搬送数

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
809	1,189	823	1,065	1,037	899	828	948	861	1,046	677	864	11,046
312	353	333	348	403	303	271	340	345	337	257	310	3,912
1,221	1,276	1,340	1,472	1,597	1,298	1,381	1,440	1,510	1,371	1,182	1,319	16,407

## 【救急患者の謝絶率】(上段：指定日、中段：指定日以外、下段：全体) %

前年度実績：指定日 7.6%、指定日以外 28.1%、全体 16.9%

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
16.2	10.3	10.7	9.4	13.5	16.3	15.9	19.1	27.5	20.9	21.9	11.5	16.1
35.1	34.7	29.6	35.1	48.6	40.2	45.8	49.3	52.9	52.6	49.7	44.3	43.1
25.3	19.7	19.3	19.4	29.7	25.9	29.2	33.5	39.0	35.5	35.4	27.7	28.3

## 【手術件数】(上段：全体件数、中段：ダビンチ、下段：Mako) 前年度実績：全体 4,417 件

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
341	349	393	349	337	324	313	357	385	336	360	442	4,286
7	7	9	13	12	10	10	9	14	14	15	16	136
25	21	27	21	20	19	20	20	30	24	28	33	288

## 【紹介率】上段：実数、下段：割合 前年度実績：月 749 件 (69.8%)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
695	654	805	703	751	691	696	759	736	658	695	749	716
77.7	66.0	75.2	73.7	62.3	69.1	69.7	71.5	73.8	76.1	80.8	77.5	72.4

## 【逆紹介率】上段：実数、下段：割合 前年度実績：月 619 件 (57.8%)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
593	606	655	605	589	537	512	531	559	590	647	772	599
66.3	61.2	61.2	63.4	48.9	53.7	51.3	50.0	56.0	68.2	75.2	79.9	60.6

## 【分娩件数】 前年度実績：344 件

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
31	32	19	21	23	30	29	22	22	21	17	20	287

## 【健康診断受診者数】 前年度実績：9,269 件

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
583	523	1,112	898	873	1,267	952	1,087	996	636	566	683	10,176

## 【特定保健指導実施者数】 前年度実績：193 件

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
5	15	7	6	13	9	12	10	3	5	11	7	103

## 【星ヶ丘病院】

### ＜新型コロナウイルス感染症対応＞

- ・ 5月 病棟におけるクラスター発生により、星総合病院 ICD、ICN、太田西ノ内病院 ICN、郡山市保健所の指導のもとに対応を行った。6月上旬に収束宣言を行った。
- ・ 6月 5月発生クラスターを踏まえ、COVID-19に対応したBCPの改訂を行った。安全推進委員会で確認し、職員への周知を行った。
- ・ 8月 精神科病院を対象とした新型コロナウイルス感染症 web 研修会に20名が参加し入院時の持ち込み防止対策、クラスター発生時の初動、ゾーニング等について確認した。
- ・ 8月 福島県の補助事業を活用し、PCR検査機器の新規導入を行った。検査結果待ち時間が大きく短縮され、早期の対応が可能となった。
- ・ 8月 郡山市保健所主催の新型コロナウイルス感染症対策病院長 web 会議に4名が参加した。各病院が抱える課題を共有し、今後の更なる連携を確認した。
- ・ 11月 福島県の感染対策補助事業を活用し、簡易ベッド5台、4連パーテーション3台の整備を行った。患者受け入れ対応、ワクチン接種時等に活用する。
- ・ 12月 星ヶ丘地区職員、及び職員家族を対象に、新型コロナウイルスオミクロン株 (BA.4.5) 対応ワクチン集団接種を行った。高齢者入居施設、救護施設等のワクチン集団接種も開始した。
- ・ 1月 感染対策委員会にて、職員が新型コロナウイルスの濃厚接触者となった場合の自宅待機期間を、7日間から、PCR検査との組み合わせで5日間とすることも可（原則は7日）とした。
- ・ 3月 マスク着用が個人の判断となることから、感染対策委員会で今後のマスク着用について協議を行った。医療機関であり、高齢者が多い事から、職員は必須、患者さんにも引き続きマスク着用をお願いすることとした。

### 【新型コロナウイルスワクチン接種状況】

前年度実績；7,894件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
高齢者施設等	0	0	0	0	75	133	0	0	144	77	0	0	429
個別（外来）	337	93	105	110	200	178	173	154	255	179	87	35	1,906
個別（入院）	23	9	10	7	39	35	17	10	30	17	5	22	224
職員	0	0	0	0	0	0	175	0	173	0	0	0	348
合計	360	102	115	117	314	521	190	164	602	273	92	57	2,907

### 【PCR・LAMP検査実施状況】

前年度実績；892件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	161	309	235	121	299	392	179	692	270	148	102	80	2,988

### ＜通常事業＞

- ・ 4月 郡山市担当者と認知症初期集中支援チームの活動について打ち合わせし、令和4年度の受託契約を行った。チーム活動の活性化を目的にチラシを作成し広報を行った。
- ・ 4月 星ヶ丘キャンプ場等設置プロジェクトを設置し、第一回目の会議を開催した。瓜坪池周辺土地を有効活用し、保育園児等の豊かな人間形成を支援するとともに、職員・家族の健康増進、福利厚生の一環として癒しの空間を提供する事を目的に開発を進める。
- ・ 6月 キャンプ場等の設置計画にあたり、設計・測量業者と現地の確認を行った。ボートハウス、船着き場、バンガロー等の大まかな設置位置等について協議を行った。
- ・ 7月 歯科外来を出火元と想定し、初期消火訓練と消防署への通報訓練を行った。非常用通報電話の操作方法と通報すべき内容の周知を行った。
- ・ 8月 A-1病棟吸引設備室を出火元と想定し、夜間想定防災訓練を行った。通報、初期消火、避難誘導・搬送、人員確認、消防隊への引継ぎ方法等の確認を行った。
- ・ 8月 10月に病院機能評価認定更新訪問審査を受審するにあたり模擬サーベイを実施した。各部門の訪問調査、及び患者さんの入退院の流れを確認し、課題を抽出した。

- ・10月 病院機能評価認定更新訪問審査が行われた。「チームで医療・サービス等の質改善に取り組んでいること」、「全職員での感染対策の取り組み」に対して高い評価を頂いた。
- ・11月 病院機能評価機構より認定更新審査の結果報告書が送付された。施設・設備の維持管理について特に高い評価を頂き、全項目A評価(適切に行っている)以上の評価であった。
- ・11月 福島県による精神科病院の实地指導・入院患者の实地審査が行われた。「チームによる入院患者の退院支援の取り組み」、「行動制限最小化の取り組み」に対して高い評価を頂いた。
- ・11月 キャンプ場開発工事を開始するにあたり、近隣住民の方々に挨拶まわりを行った。整備工事案内看板を掲出し土木工事を開始した。病院報「RURURU」で職員への広報を行った。
- ・2月 星ヶ丘病院の機能再編計画について法人の方針が示され、病院機能再編(新築・リニューアル)PJチームを立ち上げ、プロジェクト会議を開催した。病院機能、病棟規模、訪問診療・看護、地域連携、省エネ、SDGs等について協議を行い、3月、企画書(素案)を策定した。
- ・3月 星ヶ丘ドリームプロジェクト(キャンプ場開発)会議開催。4月に法人役員、法人職員を対象に現場見学会を開催することとし準備を開始した。
- ・3月 今年度3回目の防災訓練として、患者、職員で消火器の取り扱い訓練を行った。80名の参加があった。
- ・3月 日本赤十字社が主催する「福島県DMAT衛星電話通信訓練」に参加した。衛星電話を用いて、医療機関間で災害時に想定される患者情報、施設の被災状況等の伝達を行った。

【急性期治療病棟入院患者3ヶ月以内在宅退院率(施設基準60%以上)】 前年度実績:平均76.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
退院率	75.4	72.0	69.2	71.7	65.9	67.3	67.2	62.7	62.7	68.8	79.2	80.7

【平均外来患者数と平均入院患者数】 前年度実績:平均外来患者数136.1名、平均入院患者数217.8名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
平均外来患者数	137.8	141.4	130.3	141.4	138.3	135.7	125.7	149.2	128.3	132.4	137.0	131.7
平均入院患者数	211.7	199.9	196.1	199.3	206.9	210.4	218.6	218.8	216.5	213.7	211.4	205.1

【精神科デイケア1日平均利用者数】 前年度実績:平均40.9人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
平均利用者数	42.8	44.9	42.4	44.1	43.6	42.0	45.1	45.6	38.4	39.5	41.4	40.9

## 【三春町立三春病院】

### ＜新型コロナウイルス感染症対応＞

- ・ 7月 COVID-19 入院病床の効率的運用、院内のベッドコントロール効率化のため、ゾーニング用の壁の設置工事を実施した。
- ・ 8月 町内高齢者で要介護者の発熱患者受診が増加し、自宅療養陽性者の受診が増加している。外来受診の対応についてのマニュアルを感染対策委員会で再検討し改訂した。
- ・ 8月 三春町内デイサービスや特別養護老人ホームでクラスターが発生し、診療対応を行った。
- ・ 10月 オミクロン株対応ワクチン (BA1) 接種が開始されたが、町民、町の意向にて新しい BA4/5 ワクチンへ切り替え接種を実施した。
- ・ 10月 乳幼児ワクチン実施依頼があり、三春町及び近隣5市町村の接種を受託し星総合病院小児科医師の協力を得て開始した。
- ・ 11月 敬老園で発生したクラスターにより看護師・事務職員各1名を派遣し業務支援を行った。
- ・ 12月 東病棟にて入院された患者より感染拡大しクラスターとなった。他部署への拡大なく20日間で終息した。入院患者15名、職員16名の計31名が感染者となった。
- ・ 3月 感染対策としてオンライン面会、オンラインでの実調等多職種連携会議を実施した。年間でオンライン面会は延200件、連携会議は延472回開催し、対応にあたった。
- ・ 3月 三春町医療機関連携会議にて次年度春接種の体制について協議を行った。

【PCR 検査実施総件数 (行政検査、診療検査医療機関、ワクチン・検査パッケージ等)】

前年度実績:2,713件

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
173	144	100	131	215	116	88	165	213	83	60	92	1,580

【コロナワクチン接種 月別対応数】

前年度：医療従事者 933件、高齢者施設 1,112件、当院個別接種 3,908件 当院小児接種 100件

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
医療従事者	0	0	62	35	44	9	0	0	5	10	0	0	165
高齢者施設	117	0	0	127	28	170	0	0	30	54	190	65	751
個別接種	285	96	148	295	349	136	244	447	565	196	4	4	2769
小児接種	123	108	34	10	61	14	54	50	47	23	14	19	547
乳幼児接種								8	15	15	6	11	55

【COVID-19 対応：入院対応 (上段)・自宅療養中患者診療対応 (下段)】

前年度実績：入院延94名

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
8	5	1	8	13	8	5	14	26	7	2	2	99
6	0	2	12	8	5	10	6	5	8	2	0	64

### ＜通常事業＞

- ・ 6月 一般病棟に地域包括ケア病床10床の運用を開始した。合わせて入院患者の意思決定支援を行うための「意思確認書」を作成し運用を開始した。
- ・ 6月 三春町赤十字奉仕団より、ロータリー花壇の整備ボランティア要請があり、土を畝り、肥料入れから花植え、管理を年間計画で行っていただいている。
- ・ 7月 地域住民がACPに取り組みきっかけとして、独自でお薬手帳等と携帯できるサイズの「人生手帳」を作成し配布を開始した。
- ・ 7月 三春病院運営協議会が開催され、前年度の事業実績・収支報告、及び構成員からの住民のPCR検査等の意見があった。
- ・ 7月 三春町の沢石・中郷小学校にて、管理栄養士が食育授業を行った。夏休みの宿題としてピーマンを使ったレシピを作成し、優秀レシピは9月に実際の病院給食として提供した。
- ・ 9月 CT装置、透視レントゲン機器の更新を行った。全館停電を実施したため、防災訓練も同時に行った。
- ・ 9月 三春町発注にて外壁等改修工事が開始され、1月末まで安全に改修作業を行った。
- ・ 11月 警備委託業者を変更した。定期的に業務内容を確認し、定例会を実施することとした。
- ・ 11月 さくらマルシェに合わせ「健康まつり」として健康活動の案内や健康チェックブースの

設置、健康相談も合わせて実施した。

- ・ 1 1 月 どこでも健康教室のサロンでの対応について三春町と協議し「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る専門職派遣」の委託事業として来年度は実施する。
- ・ 1 2 月 三春農園で患者と共に育てた白菜や大根を収穫し、病院給食で提供した。
- ・ 1 月 三春町子育て支援課と連携し、こんにちは赤ちゃん訪問の際に当院産後デイケアのチラシを配布した。ママカフェみはるでも案内を進めており、今年度5件実施した。
- ・ 2 月 病院パンフレットの見直しを行い、新たなパンフレットが完成した。
- ・ 2 月 当院で腹部及び心臓超音波検査委託を行う体制を作り、連携医療機関へ訪問し案内した。
- ・ 3 月 三春町内の医療介護福祉関係者同士の交流の場として、「語る場30」を年間延5回実施した。地域のケアマネ等が参加され、地域の現状について共有した。
- ・ 3 月 「小春のいちごミニマルシェ」を院内で延4回開催した。外来患者等の利用も多かった。
- ・ 3 月 田村地区医療連携に係る打ち合わせ会（第5回）を開催した。今年度の協議内容をまとめることとし、来年度に向けて田村地域 PFM 機能設置の動きについて行政と共有した。
- ・ 3 月 今年度のオレンジカフェは毎月実施し、延146名が参加し、認知症に関する相談対応も行った。来年度のオレンジカフェのチラシを、三春町の回覧板へ入れていただき周知した。

【平均外来患者数(上段)、平均入院患者数(下段)】 前年度実績：平均外来患者数157.2名、平均入院患者数57.5名

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
121.5	132.1	135.0	155.0	149.7	157.1	159.3	174.6	161.9	141.1	135.3	126.2	145.7
57.4	60.1	57.1	56.8	59.3	53.6	53.3	52.7	44.5	50.4	56.2	55.1	54.7

【救急車受入数(上段)、救急車搬送後入院数(中段)、救急車謝絶数(下段)】 前年度実績：受入人数131名、入院数73名

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
11	20	13	12	20	16	14	23	10	8	6	11	144
5	4	5	6	11	6	7	11	3	5	0	5	64
11	5	12	13	22	11	12	22	26	9	5	10	158

## 【たむら市民病院】

### ＜新型コロナウイルス感染症対応＞

- ・ 4月 令和4年度も集団接種会場に医師、看護師を派遣。個別接種も病院にて対応。
- ・ 7月 田村市ワクチン集団接種（4回目）を開始し、9月末まで医師、看護師を派遣した。
- ・ 7月 4回目のワクチン個別接種を開始し、1回目～3回目の方にも対応した。
- ・ 8月 コロナ治療薬「パキロビッドパック」ファイザー社へ施設登録した。
- ・ 8月 職員10名、入院患者4名による新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したが、収束となった。
- ・ 8月 感染対策向上加算に係る合同カンファレンスに参加した。
- ・ 8月 福島県補助金によりPCR検査機器1台と安全キャビネット1台を導入した。
- ・ 10月 星総合病院感染対策室による院内ラウンドを実施。感染対策に関する指導を受けた。
- ・ 11月 三春町敬老園でのクラスター発生を受けて、看護師1名を派遣。医療支援を行った。
- ・ 11月 厚生労働省事業「新型コロナウイルス感染症のPCR検査等に係る精度管理」に参加。
- ・ 12月 ワクチン個別接種、BA1からBA4・BA5対応のワクチンへ切替した。

【PCR検査件数：保健所依頼検査件数（上段） 一般外来検査件数（下段）】 前年度実績；1,515件

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
35	26	52	92	159	0	0	0	0	0	0	0	364
102	95	50	139	283	87	68	114	179	97	39	58	1,311

【コロナワクチン個別接種数推移】 前年度実績；8,877件

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1,014	256	379	688	910	528	176	380	658	345	352	378	6,064

### ＜その他＞

- ・ 6月 田村市の予算により超音波手術機器を導入（県内初）。デブリードマンで使用した。
- ・ 6月 田村市による新病院・厨房施設建設工事に係る施工予定者選定プロポーザルが実施された。
- ・ 9月 精神科・心療内科を開設。大久保クリニック閉院に伴い、田村市内の唯一の精神科・心療内科となった。
- ・ 10月 田村地域医療連携会議を開催。3市町（田村市・三春町・小野町）と公立3病院が合同で連携強化プランについて協議した。
- ・ 10月 「いきいき田村元気フェスティバル」にブース出展。市民向けに褥瘡予防のパネル展示やクッションを用いてポジショニングの紹介をした。
- ・ 11月 「いきいき健康づくりフォーラム in 田村」（福島県立医大健康増進センター主催）が開催され、当院からはACPチームと音楽リハビリハピリズムの2ブースを出展した。
- ・ 11月 終末期の在宅患者1名に対してオンライン診療を実施。患者、患者家族からも好評であった。
- ・ 12月 リハビリ職員が「笑いヨガリーダー」の認定を受けた。（ラフターヨガ・インターナショナル・ユニバーシティ認定）。今後、田村市と協働で予防活動を行う。
- ・ 1月 あんしんベースにおいて七草がゆイベントを実施した。石崎ニュータウンサロンの会員が参加し、当院の管理栄養士が支援した。
- ・ 1月 福島民報社より病院待合で開催している、「たむら支援学校作品展覧会」の取材を受けた。1月26日付の紙面に掲載された。
- ・ 2月 医療研修会「医療機関に迫るサイバー攻撃への対応」（主催：福島県病院協会）を聴講。対策案について院内で協議した。
- ・ 2月 職員の「わくフェス」としてヨガ教室を開催。職員の健康増進や心身のリフレッシュにつながる活動として継続していく。
- ・ 3月 船引南中学校にて理学療法士による「ストレッチ教室」を開催した。怪我の予防や運動意欲向上に向け、今後も医療スタッフが支援していく。

- ・3月 星の森保育園、田村市、田村消防署、地元消防団、市民病院合同で「防災パレード」を開催。沿道にも多くの市民が参加し、防災意識向上につながる有意義な地域イベントとなった。当日の様子は福島民報に掲載された。

## 【月別平均入院患者数】

前年度実績；16.0名

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
17.5	14.5	13.5	12.3	14.7	13.2	10.1	10.3	16.3	16.3	14.4	16.5	16.1

## 【月別平均外来患者数】

前年度実績；78.4名

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
71.4	69.1	71.6	77.2	81.8	80.8	76.4	80.7	80.2	75.1	83.1	76.3	77.2

## 【救急車要請数（上段）、救急車受入数（下段）】

前年度実績；要請17.4件受入5.8件

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
16	16	17	12	27	24	28	17	41	24	14	32	22.1
3	4	5	7	13	8	13	2	15	7	6	12	7.8

## 【紹介患者数：外来・入院合計数（上段）、逆紹介患者数：外来・入院合計数（中段）紹介受入れ入院数（下段）】

前年度実績；上段73.3名 中段44.1名 下段13.5名

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
46	35	45	28	48	53	51	54	56	40	63	91	50.8
49	41	37	38	46	61	63	39	30	32	35	43	42.8
10	9	13	9	16	10	5	10	20	13	15	15	12.1

## 【ほし横塚クリニック】

### ＜新型コロナウイルス感染症対応＞

- ・ 4月 今年度診療報酬改定があり、感染症対策に係る評価である「外来感染対策向上加算」を申請した。
- ・ 7月 外来患者等のワクチン接種（4回目）を開始した。当初、金曜日に12名程度の予定としたが、希望者も多く40名以上で実施し、他の曜日にも実施することとした。
- ・ 8月 星総合病院（感染対策向上加算1医療機関）主催の合同カンファレンスに、医師、看護師、事務管理者が出席した。クリニック職員は、今年度の活動目標を報告し、地域内のクリニックの感染対策を学んだ。
- ・ 11月 田村市立都路診療所では、新型コロナウイルスワクチン接種を推進するため、11月～3月の日曜日に診療所を接種会場として住民の接種機会を設ける。クリニック3名の医師は問診医師として協力する。
- ・ 3月 星総合病院（感染対策向上加算1医療機関）主催の合同カンファレンスがあり、クリニック職員は出席した。カンファレンスでは「新興感染症等対応シミュレーション訓練（着脱訓練）」を行い、また、「N95マスクのフィットテスト」も実施し、課題を確認することができた。また、来年度のカンファレンス開催に向けて意見交換をした。

### 【PCR検査実施件数】

前年度実績：638件

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
105	100	58	130	202	112	61	84	152	144	45	39	1,232

### 【コロナワクチン接種 月対応数】

前年度実績：4,165件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績
郡山市集団接種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人医療従事者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者施設等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者施設従業員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個別接種	177	60	50	110	236	173	217	94	311	138	34	19	1,619
職域接種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	177	60	50	110	236	173	217	94	311	138	34	19	1,619

### ＜通常事業＞

- ・ 4月 星総合病院が毎月発行している広報紙「きらりふれあい広場」の令和4年6月号に星吾郎医師が郡山市の「健康診査及びがん検診等について」、及び9月号の「救急の日（AED）について」の記事を掲載した（73回掲載）。
- ・ 4月 郡山医師会在宅医療介護連携推進特別委員会（星吾郎医師が委員）主催で、令和4年度、高齢者入所施設の職員を対象に「ACP実践者養成研修会」（4月、5月、6月、7月の4回コース）を開催することとし、関係機関に案内した。
- ・ 4月 郡山医師会内で在宅診療を中心に実践している3名の医師（星吾郎医師、福井謙医師、遠藤貴士医師）は、医療・介護・福祉の問題等の事案をテーマに、情報交換できる組織として「GF Eの会」を令和2年度に設立し、今年4月28日には、第9回オンラインセミナー テーマ「睡眠障害（不眠症）」を開催した。
- ・ 7月 福島医大地域・家庭医療学講座より、10月から後期研修医1名を派遣する連絡があった。後期研修医1名の研修、教育、診療と合わせ、田村市立都路診療所の診療体制についても協議することとした。
- ・ 9月 10月からの後期研修医の派遣を踏まえ、クリニック常勤医師は田村市立都路診療所の診療体制の確認や見学等を行った。ほし横塚クリニック医師は月～水曜日、田村市立都路診療所の外来診療を実施することとした。



- ・12月 受付窓口に「オンライン資格確認」システムを導入した。補助金申請を行い、また、今後の医療情報化の施策に沿って準備を行う。
- ・1月 郡山医師会主催、学術講演会で、星 吾郎先生は演題「これからのかかりつけ医と在宅医療」の講演を行った。
- ・1月 令和5年度も後期研修医1名が勤務することとなり、令和4年度に引き続き、クリニック常勤医師3名は田村市立都路診療所の月～水曜日の外来診療、及び近隣の特別養護老人ホーム診療を実施することとした。

【利用者数】（上段より：外来患者、訪問往診患者、健診・予防接種者、合計患者数）

（前年度平均：953名、47名、753名、合計1,755名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
外来	1,107	932	1,034	1,032	1,306	1,089	990	1,086	1,238	986	983	1,100	1,073
在宅	46	48	56	48	47	48	51	41	45	46	41	52	47
健診	247	308	517	618	562	507	1,026	1,133	875	467	167	152	548
合計	1,400	1,288	1,607	1,698	1,915	1,644	2,067	2,260	2,158	1,499	1,191	1,304	1,669

## 【オリオン】

### ＜新型コロナウイルス感染症対応＞

- ・ 4月 感染者発生時のゾーニングや予防着の着脱場所の確認、臨時ナースステーションの設置など、実践に近いシミュレーション訓練と机上訓練を行った。
- ・ 6月 令和4年度福島県地域医療介護総合確保基金（介護施設等における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策支援事業）を活用し、簡易陰圧装置1台の申請を行った。
- ・ 7月 入所者の面会について、週2回から3回に増やし対応した。
- ・ 8月 入所者の4回目ワクチン接種を実施した。未接種者は個別対応していく。
- ・ 9月 職員、委託職員等の4回目ワクチン接種を行った。
- ・ 11月 利用者のインフルエンザワクチン接種が完了した。12月のオミクロン対応ワクチン接種にむけて行政への接種券申請等の準備を行った。
- ・ 12月 職員、利用者のオミクロン対応ワクチン接種を行った。利用者は複数回に分けて実施していく。
- ・ 1月 利用者のオミクロン対応ワクチン接種が終了した。新規入所者で未接種者は随時、星ヶ丘病院で接種していく。
- ・ 2月 感染対策委員会にて協議し、感染対策緩和に伴う面会方法等の見直しや、入所時の検査などについて協議した。面会方法は窓越し面会を継続し、面会枠の回数を月に10枠増やすことにした。

### ＜通常事業＞

- ・ 4月 星ヶ丘ドリーム（キャンプ場）プロジェクトに理学療法士1名、介護福祉士1名が参加した。
- ・ 6月 介護保険事業者指定更新（訪問リハビリ）を行った。
- ・ 6月 感染対策を行い、3ブロックに分けてオリオン運動会を開催した。
- ・ 7月 片平町の方々を対象とした介護教室をオリオン広場で開催した。フレイル予防に向けたプログラムと料理教室を行い、15名の参加があった。
- ・ 9月 オリオン祭りを開催した。利用者と施設職員のみでの参加とし、移動式の出店が3つのブロックを回り、密を避けて感染対策を徹底して行った。祭りの写真を家族へ送付した。
- ・ 9月 介護職員処遇改善支援補助金の申請を行った。
- ・ 10月 介護保険報酬において、介護職員等ベースアップ支援加算の申請を行った。
- ・ 11月 郡山市老健協会事務間にてWEB会議を行い、物価高騰に関する支援や補助金の動向について情報交換を行った。
- ・ 11月 福島県立医大健康増進センター主催「いきいき健康づくりフォーラム in たむら」に介護福祉士2名が参加し、音楽リハビリの啓発活動を行った。
- ・ 11月 高齢者虐待防止に関する指針・マニュアルを作成し、職員に周知した。
- ・ 12月 節電など職員のエコに対する意識づけについて、全職員に周知し情報共有を行った。
- ・ 1月 令和4年度福島県地域医療介護総合確保基金の補助金を使用し、館内使用のPHS10台を導入した。
- ・ 2月 終末期委員会を行った。次年度の目標として、ナラティブアプローチを複数の利用者に行い、終末期の理解を深められるよう、多職種連携で人材教育を行うこととした。
- ・ 2月 星ヶ丘地区3施設会議（オリオン・星ヶ丘病院・星ヶ丘ホーム）を行った。星ヶ丘地区のリニューアル計画や各事業所の相互連携について協議した。毎月の開催をしていく。
- ・ 3月 療養食加算を4月より算定するにあたり、メニューの再調整や指示書の確認を行った。

### 【稼働状況】（長期入所・短期入所の合計）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
令和4年	76.6	77.1	77.6	77.8	85.3	88.8	85.4	81.7	86.6	84.3	86.0	84.5	82.5

## 【入所・退所・在宅退所者件数】(目標 入所10件、退所10件、在宅退所者3件/月)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入所者	11	14	14	15	19	9	5	7	10	8	9	8	129
退所者	8	21	10	15	9	8	10	5	12	4	5	17	124
在宅	3	9	4	5	2	4	4	2	6	0	0	8	47

## ○今年度目標：超強化型70～ (算定指標：超強化型70～、在宅強化型60～69)

- ・評価項目：①在宅復帰率、②ベッド回転率、③入所前後訪問指導割合、④退所前後訪問指導割合  
⑤居宅サービス実施数、⑥リハ専門職の配置割合、⑦支援相談員の配置割合、  
⑧要介護4又は5の入所割合、⑨喀痰吸引の実施割合、⑩経管栄養の実施割合

- ・指標点数：①50%以上20、30%以上10 ②10%以上20、5%以上10 ③30%以上10、10%以上5  
④30%以上10 ⑤3サービス5 ⑥5人以上5 ⑦3人以上5 ⑧50%以上5 ⑨5%以上3  
⑩5%以上3、5%以下0

評価項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	合計
	在宅復帰率	ベッド回転率	入所前後訪問	退所前後訪問	居宅サービス	リハ専門職	支援相談員	要介護4・5	喀痰吸引	経管栄養	
4月	10	20	10	10	5	5	5	5	3	0	73
5月	10	20	10	10	5	5	5	5	3	0	73
6月	20	20	10	10	5	5	5	5	3	0	83
7月	20	20	10	10	5	5	5	5	3	0	83
8月	20	20	10	10	5	5	5	5	3	0	83
9月	20	20	10	10	5	5	5	5	3	0	83
10月	20	20	10	10	5	5	5	5	3	0	83
11月	20	10	10	10	5	5	5	5	3	0	73
12月	20	10	10	10	5	5	5	5	3	0	73
1月	20	10	10	10	5	5	5	5	3	0	73
2月	20	10	10	10	5	5	5	5	3	0	73
3月	20	20	10	10	5	5	5	5	3	0	83

## 【三春町敬老園】

### ＜新型コロナウイルス感染症対応＞

- ・ 5月 デイサービス4ヵ所を訪問し、利用再開へ向け感染対策について情報交換を行った。
- ・ 6月 地域の感染状況を踏まえ、今年1月以降中止していたデイサービスの利用を再開した。
- ・ 7月 三春病院の協力により入園者、職員のコロナワクチン4回目の接種を完了した。  
コロナ第7波拡大を受け、感染防止対策、情報共有の強化を目的にデイサービスを訪問し、感染対策の確認、意見交換を行った。
- ・ 8月～9月 県事業「高齢者施設等の従事者等へのPCR検査」を依頼、全職員の陰性を確認した。
- ・ 10月 三春町内のデイサービス利用中の入園者1名が新型コロナウイルスに罹患したが、感染拡大に至らず収束した。
- ・ 11月 三春町内のデイサービス利用中の入園者2名が新型コロナウイルスに罹患した。その後感染は入園者54名、職員12名に拡大し、財団各施設からの人的、物的支援を受け入園者対応を行い、収束した。
- ・ 1月 利用を中止していた訪問介護の利用を再開した。
- ・ 2月 三春病院の協力により入園者、職員のコロナワクチン5回目の接種を完了した。
- ・ 3月 利用中止していたデイサービスは、機械浴による入浴が必要な入園者のみ利用を再開した。

### ＜通常事業＞

- ・ 4月 園外活動自粛の現状を踏まえ、作業療法士による活動プログラムを開始した。
- ・ 5月 三春町の依頼により緊急依頼1名を含む3名の短期入所を受入れた。  
園芸活動を見直し、希望入園者への農地の貸し出し等、新たな取り組みを導入した。
- ・ 6月 三春町民生委員協議会で、敬老園の現状と民生委員との連携について講演した。  
入園者と職員7名が、沢石小学校「こどものためのジャズコンサート」を鑑賞した。
- ・ 7月 星総合病院QM室、敬老園電算化ワーキンググループの協働により記録電算化の運用を開始した。
- ・ 8月 郡山市民生委員協議会で、養護老人ホームの機能、敬老園の現状について講演した。  
運動プログラムを入園者の現状に合わせ改変。「元気ハツラツ体操」へ再構成した。
- ・ 9月 職員の対応力向上を目的に、訪問看護師による「在宅酸素勉強会」を開催した。  
三春町児童館より児童が来園、敬老の日に合わせプレゼントの交換を行った。
- ・ 10月 職員の新型コロナウイルス対応力強化を目的に園外講師を招聘、勉強会を開催した。
- ・ 11月 音楽リハビリ指導員有資格職員2名が、「いきいき健康づくりフォーラム in 田村」に参加し音楽リハビリ（ハピりずむ）を実演した。
- ・ 12月 BCPの取組みとして、「新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計」を策定した。
- ・ 1月 SDGsの取組みとして非常食をおやつとして入園者に提供した。
- ・ 2月 三春町沢石地区で開催された「どこでも健康教室」で生活相談員がACPについて講義した。併せて、敬老園の概要と現状について報告した。
- ・ 3月 法人防災センター長の指導により、町立三春病院と合同防災訓練を実施した。  
第三者委員会を開催、3人の委員と地域ニーズ、園運営等について意見交換を行った。

### 【入所稼働率】

前年度平均実績：上段 97.2% 下段 1516日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均 合計
入所稼働率	96.5	95.3	96.7	99.0	99.2	99.8	97.2	96.9	95.2	95.0	94.5	92.6	96.5
入院日数	103	129	99	41	70	51	58	67	73	104	121	109	1,025

## 【新規利用相談件数】

前年度件数：36件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談件数	2	3	3	5	1	2	5	1	5	8	1	2	38

## 【職員向け園内研修会】

前年度回数：20回

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催回数	0	1	2	1	2	2	2	0	0	2	2	3	17
参加者延べ数	0	22	41	17	52	42	31	0	0	49	44	69	367

## 【入園者対象園内研修会】

前年度回数：13回

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催回数	2	1	1	2	1	1	0	0	0	1	2	1	12
参加者延べ数	136	63	59	121	67	60	0	0	0	57	116	63	742

## 【関係機関との連携】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
行政機関	33	29	56	65	62	47	75	79	60	123	89	79	797
地域包括	15	4	10	15	21	16	17	16	19	30	24	16	203
居宅介護	20	52	45	53	55	49	56	80	47	44	52	65	618
医療機関	32	49	50	53	40	32	34	45	61	72	52	66	586
民生委員	1	1	1	1	3	2	0	0	0	0	0	0	9
介護保険	7	42	26	48	59	36	63	70	29	29	34	49	492
その他	14	28	21	22	31	30	20	121	32	28	39	32	418
月計	122	205	209	257	271	212	265	411	248	326	290	307	3123

## 【星訪問看護ステーション】

### ＜通常事業＞

- ・ 4月 集金業務のキャッシュレス化に向け F-net 電子申請を行い、利用者への説明をした。
- ・ 4月 介護ソフトほのぼの「ケアパレットナース」の勉強会を開催し、15名が参加した。
- ・ 4月 サテライトスタッフ2名コロナ陽性となり感染対策の見直し、BCP 更新する。
- ・ 5月 介護ソフトほのぼの「ケアパレットナース」の勉強会を開催し、10名が参加した。
- ・ 6月 職員の人事異動に伴い利用者との契約書、及び感染 BCP マニュアルの見直しを行った。
- ・ 6月 働き方改革として夜間携帯電話待機をサテライト2か所で共有し検証を開始した。
- ・ 7月 サテライト星ヶ丘としずかの兼務者配置し、新規利用者や状態変化のある利用者の情報共有をチャットワークや MCS を活用できるか提案、検討した。
- ・ 8月 F-net 初回振替を開始した。(星訪看全体で約 50 件利用)
- ・ 8月 星訪問看護ステーションたむら開所申請書類一式を県中保健福祉事務所へ提出した。
- ・ 9月 災害時 B C P は本部、サテライトごとに作成している。
- ・ 10月 星訪問看護ステーションたむらとサテライト三春との兼任スタッフを設定することで、看護提供体制を整備し開所とした。
- ・ 10月 「安全管理マニュアル」全ステーションで改訂した。
- ・ 11月 創傷関連修了者対象に第1回 ZOOM 勉強会を開催し、12名参加した。
- ・ 11月 県中保健所研修に1名参加した。
- ・ 1月 県連絡協議会の精神科訪問看護フォローアップ研修に参加した。
- ・ 3月 ほし横塚クリニックの建物、外周の再開点検箇所の確認を3部署で共有した。

### 【特定行為研修修了者の活用】

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
創傷	相談/訪問/ 研修件数	1/1/0	2/1/0	2/2/0	2/2/0	1/1/0	0/1/0	0/1/0	0/2/1	1/0/0	1/3/1	1/4/0	1/4/0
瘻孔	相談/訪問/ 研修件数	0/8/0	1/2/0	1/1/0	0/2/0	0/8/0 講義2	0/1/0	0/ 勝 2/0	1/2/0	0/6/0	2/2/1	2/2/ 受講1	0/1/0
精神	相談/訪問/ 研修件数	1/1/0	1/1/0	0/1/0	0/0/0	1/1/0	2/1/0	1/0/0	1/1/0	0/2/0	0/2/1	0/2/ 受講1	0/2/0
水栄	相談/訪問/ 研修件数	0/0/0	0/0/0	0/0/0	1/1/0	1/0/0	1/0/0	1/0/0	0/0/0	1/0/0	0/0/1	0/0/0	1/0/0

### 【令和4年度 訪問看護ステーション 訪問件数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延べ件数	実績 (R3)
星訪看	477	464	506	468	453	431	454	428	428	429	416	459	5,413	5,576
リハのみ	65	63	64	64	70	60	63	67	69	64	68	82	799	902
星ヶ丘	314	329	326	322	317	265	295	279	273	256	267	309	3,552	3,823
リハのみ	41	40	37	32	36	36	44	38	35	30	30	39	438	395
しずか	333	333	339	333	338	304	323	309	290	270	276	307	3,755	4,248
リハのみ	29	27	31	25	33	25	29	24	30	24	33	32	342	723
三春	343	366	377	409	405	407	304	249	306	289	305	328	4,088	4,645
リハのみ	94	89	93	95	97	87	71	42	66	55	65	70	924	1,154
総数	1,467	1492	1548	1532	1513	1407	1376	1265	1297	1244	1264	1403	16808	18292
リハ総数	229	219	225	216	236	208	207	171	200	173	196	223	2503	3174

## 【星在宅介護支援センター・星ヶ丘居宅介護支援事業所】

### <通常事業>

- ・ 4月 事例検討会の開催、虐待防止検討委員会設置について協議した。(合同)
- ・ 5月 懸け橋メイトミーティング ケアマネジャーへの懸け橋に講師として参加した。ケアマネジャーの業務や体験談、受講者からの質疑応答を行った。
- ・ 5月 居宅介護支援事業所連絡協議会の総会に ZOOM にて参加した。ケアマネジャー自身のセルフケアについて星吾朗先生の講演を受講した。
- ・ 6月 ACP委員会にて地域での看取りケースについて事例発表した。
- ・ 6月 運営規定変更届提出した。
- ・ 7月 星在宅介護支援センターにて介護保険の現地指導が行われ運営の指導を受けた。
- ・ 8月 ZOOM 事例検討会を開催した。(合同)
- ・ 11月 看護協会県中地区研修会に参加し、ケアマネジャーとして発表した。
- ・ 11月 包括協Cブロック・居宅合同の主任ケアマネジャー事例検討会に参加した。
- ・ 12月 介護支援専門員実務研修 見学・観察研修受け入れを1名で申請した。
- ・ 2月 認定調査員研修会(オンライン研修)に参加した。
- ・ 3月 実務未経験者の職員を対象に1日研修を実施した。

### 【新規利用・入院時医療連携加算・退院時加算 該当者数】

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
星 在 介	初回	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0
	医療連携	3	3	2	0	2	1	2	1	0	1	2	1
	退院時	0	3	2	2	0	1	0	0	0	0	1	1
星 ヶ 丘	初回	3	3	1	1	1	1	2	5	5	1	3	0
	医療連携	1	2	1	2	5	0	1	2	1	2	2	1
	退院時	1	3	1	0	1	1	1	0	0	2	0	0

### 【ケアプラン作成数】

前年度実績；上段 77 件 下段 51 件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績(平均)
星在介	75	80	80	76	78	76	74	60	54	51	52	52	808 (67)
星ヶ丘居宅	51	53	55	52	50	48	52	55	57	56	54	56	639 (53)

## 【芳賀・小原田高齢者あんしんセンター】

### <通常事業>

- ・ 4月 国際医療看護福祉大学校介護福祉科学生に認知症サポーター養成講座を開催した。
- ・ 4月 地域の通いの場で介護予防体操や健康に関する講話行う。山崎集会所に第1・3月曜日、昭和集会所で第1・3火曜日に職員派遣する。(通年)
- ・ 4月 芳賀方部及び小原田方部民生委員協議会に参加した。(通年)
- ・ 4月 芳賀地区各種団体連絡協議会に参加した。
- ・ 6月 小原田ふれあいの会(協議体)に3か所参加し地域課題について意見交換を行った。
- ・ 9月 芳賀地区民生委員協議会 地域にある介護保険の施設の種類について講話した。

### 【令和4年度 総合相談延べ件数】

前年度実績(平均)；上段 629 件 下段 12 件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績(平均)
総合相談	938	881	966	1,035	1,265	1,258	1,073	1,167	1,041	1,413	1,252	1,319	13,608 (1,134)
介護保険申等	25	25	17	15	27	17	20	17	13	36	44	30	286 (24)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績(平均)
認知症支援等	12	29	14	53	40	50	26	25	18	16	12	13	308 (26)
認サボ養成講座	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (0)
地域ケア会議	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2 (0)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績(平均)
地域ケア圏域会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域会議への参加※	2	5	5	3	2	1	3	2	2	2	3	2	32 (3)
地域事業所運営会議等	0	0	3	4	3	6	2	6	2	2	5	3	36 (3)

※地域会議：民協、地区社会福祉協議会、協議体

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績(平均)
通いの場参加	4	3	4	3	2	2	2	3	4	1	1	3	32 (3)
介護予防教室開催	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績(平均)
権利擁護業務	10	26	7	13	29	14	11	3	10	14	13	14	164(14)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績(平均)
ケアマネジメント	235	217	250	286	353	422	367	331	338	476	373	447	4,095 (341)
ケアプラン作成数	194	189	186	194	190	189	193	183	184	181	182	186	2,251 (188)

## 【福祉まるごと相談窓口】

### <通常事業>

- ・7月 ほしくまファームで収穫した野菜を生活困窮する世帯に届けるなど連携を開始した。

【相談延べ件数】 前年度実績；新規 4.8 継続 91.4

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績(平均)
新規	6	4	4	3	7	8	6	5	3	7	2	3	58 (4.8)
継続	127	73	92	90	93	128	100	87	96	123	81	80	1,170(97.5)

## 【田村市ふねひき地域包括支援センター】

- ・4月 田村市地域包括支援センター（船引地区圏内）、訪問看護ステーション、地域交流スペースからなる複合施設「ほしくま あんしんベース船引」地鎮祭が船引町地内で行われた。
- ・4月 田村市役所において田村市社会福祉協議会代表と地域包括センター初回顔合わせを行い、今後の引継ぎスケジュール等を確認した。
- ・6月 たむら市民病院3階に田村地域包括支援センター開設準備室を設け2名配置した。
- ・7月 田村市地域包括支援センター運営協議会にて、田村市から委託を受ける地域包括支援センター名称を「田村市ふねひき地域包括支援センター」と確定する。
- ・8月 地域包括支援センター指定介護予防支援事業所の指定を受けた。
- ・9月 「たむらあんしんベース船引」のパンフレット作成協力とホームページ作成を行った。
- ・9月 田村市包括支援センターとの引継ぎなど最終確認を行った。
- ・9月 田村市、郡山市、小野町の介護保険事業所70か所へ田村市の包括が2か所に増えた報告と、事業説明会を行った。
- ・10月 開所式を行い、施設全体、及び包括支援センター概要説明と職員紹介を行った。
- ・11月 田村市支えあう地域づくり協議体事業報告会を行い9名の参加があった。
- ・11月 地域のボランティアサークルがミニ手話教室として活用し10名の参加があった。



- ・12月～3月 傾聴ボランティアひだまり定例会に12名～16名/月の参加があった。
- ・1月 地域の医療介護職向けにホール利用し懸け橋メイトミーティングをハイブリット形式で開催、20名の参加があった。
- ・3月 田村市障害基幹型、たむら地方児童発達支援センター、ボランティア団体“ここから”3団体がキッチンを活用し「春のお弁当作り」にて地域の対象者に配食した。

## 【相談件数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実績(平均)
相談件数	—	—	—	—	—	—	73	262	388	465	544	620	2,352 (392)
ケアプラン数	—	—	—	—	—	—	0	27	54	72	94	106	353 (58.8)

## 【 保育事業所 】

### < 通常事業 >

- ・ 4月 入園入所を祝う会を開催して午後には保護者会で今年度の役員と活動計画を決めた。法人が運営する保育施設の在園児数 457 名で新年度をスタートする。
- ・ 4月 各施設で園庭や地域に出向きお弁当を持参してお花見を実施した。
- ・ 5月 感染対策を十分考慮し保護者個人面談に向け希望調査にて割り振り、保護者の思いを共有した
- ・ 5月 プライベート時間を有意義に活用し心身をリフレッシュできるように、職員全員が有給休暇を取得しやすいように調整をした。
- ・ 6月 玉ねぎ・じゃがいも収穫の行い、キッチンカーで収穫した野菜を調理して食べるまでのプロセスを体験し、食育につなげた。
- ・ 6月 保護者会主催による所庭（園庭）の除草作業を職員と保護者全員で実施した。
- ・ 7月 七夕会、夏祭り、スイカ割り、プール遊び、ブルーベリー摘み等夏ならではの行事や遊び、体験を取り入れ暑さや楽しさや美味しさを経験した。
- ・ 7月 郡山市の食育ボランティアの方が食事のマナーで箸の持ち方や食べ方を紙芝居や制作した大きな箸の模型を使って園児に伝えた。
- ・ 9月 スポーツの秋になり毎日の保育の中に運動遊びや運動会の練習を取り入れて体を鍛え、保護者参加での運動会で演技を披露した。
- ・ 10月 収穫体験として「田植えから稲刈り」や「苗植えからさつまいも収穫」を行い、おにぎりや焼き芋にして食べるまでの体験し、食を楽しんだ。
- ・ 10月 絵画造形展、人形劇、ジャズの演奏鑑賞等に触れ、秋の芸術を楽しんだ。
- ・ 10月 食育のひとつとして魚の解体を見学してから触れてみて食べるまで実施した。
- ・ 11月 各園において近くの神社に参拝に出掛け七五三のお祝いをした。
- ・ 11月 各園において火災や地震等の総合避難訓練を実施して避難場所の再確認、保護者との連絡方法の確認と受け渡しの方法や場所の確認をした。
- ・ 12月 各園（所）においてコロナ対策をしながらおゆうぎ会を実施した。祖父母参観にて子どもの成長を見て頂いた。
- ・ 1月 新年会パーティーを設定しお正月の行事、しめ飾り、団子差し、かるた取り、鏡開き、書初めコマ回し大会を実施した。
- ・ 1月 冬の季節遊び（そり遊び、雪だるま、雪合戦等）を行い、友だちとの交流を楽しんだ。
- ・ 2月 節分に向けて鬼のお面を作成した。地域の青年会や商工会の方が鬼になり地域の方々の協力のもと豆まきが行われた。
- ・ 2月 次年度入園する保護者に対し新入所児説明会を開催し、準備物の注文を受けた。
- ・ 3月 ひな祭りを行い、由来をクイズ形式にしたり、ひな祭りの歌を歌ったりしてこれからの成長を願った。
- ・ 3月 各園にて今年は両親の参加のもとに卒園式修了式を実施し、園長から保育証書を授与した。感謝・お別れの言葉や歌を歌い心身共に成長した子ども達が巣立った。

### 【利用者の動向】

\*①ほしのご保育園②星ヶ丘保育園③三春町第1保育所④三春町第2保育所⑤星の森保育園（毎月1日現在）

定員数(地域枠)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①110(23)	81(18)	83(19)	85(21)	88(22)	90(22)	94(22)	95(21)	98(22)	99(22)	99(22)	97(21)	96(21)	1105
② 60(15)	40(14)	40(14)	40(14)	41(14)	41(14)	42(14)	44(15)	43(15)	42(14)	42(14)	42(14)	42(14)	499
③ 120	114	113	114	114	115	115	114	116	116	116	116	116	1379
④ 115	106	106	106	108	109	110	114	114	113	114	114	114	1328
⑤ 150	116	119	123	130	130	130	130	131	131	130	130	130	1530
合計	457	461	468	481	485	491	497	502	501	501	499	498	5841

ほしのご・星ヶ丘保育園については（ ）内は地域枠人数

## \*病児病後児保育延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ほしのこ	4	3	2	0	7	9	19	9	2	6	6	3	68
星の森病児	0	0	0	1	0	1	0	2	2	1	1	2	10
星の森病後	0	0	1	0	1	0	0	3	0	0	0	0	5

## 【 大町キッズベース 】

- ・ 4月 アクティブキッズベースで歴史を学ぶ「三春城下町の歴史散策」にて、お城の公園・歴史民俗資料館・かつぎ橋・お寺を散策して三春町の歴史を学んだ。
- ・ 5月 一時預かりとフリースクールの児童と交流しながらカルチャーパークで活動した。フリースクールに通っていた高校生がボランティアで参加した。
- ・ 5月 おおまちマルシェと併せて子供対象の運動会や大人まで楽しめるフローティングフレームづくりを行った。
- ・ 6月 おおまちマルシェにポラリスボランティアサークル「シリウス」が参加して児童クラブの児童と一緒に活動をした。
- ・ 6月 フリースクールの児童9名が JAZZ コンサート沢石小に鑑賞に出掛け、2名の児童が演奏に参加した。
- ・ 7月 一時預かりで児家センとの連携により利用することになった児童は、毎週土曜日に利用することになった。情報を共有しながらより良い形の保育を目指している。
- ・ 7月 児童クラブでは郡山市の児童クラブ運営費補助金において送迎が認められており、3校の小学校については児童の送迎手段として活用している。
- ・ 7月 フリースクールの子ども達が多く体験や人に出会うことでコミュニケーションが図られ、学校へ行く子も少しずつ増えてきた。
- ・ 8月 一時預かりでは予約後にコロナの影響かキャンセルが入る件数が多かった。
- ・ 9月 児童家庭支援センターと連携して水害対応の避難訓練を、センター長の指導のもと実施した。
- ・ 9月 大町キッズベース、保育園、わくわくベースなどの遊びの場の構築のひとつ「福島の花」を21名の参加のもと開催した。
- ・ 10月 大町キッズベースまつりは「結ぶ」をテーマに商店街きらめき21研究会・女子大地域創成学学生・シリウス等と連携して折り鶴アート・出店・スタンプラリー・生演奏等実施した。
- ・ 11月 一時預かりの新規利用者で15の他の施設に電話での問い合わせをして一番対応がよかったので当施設を利用したとのお褒めの言葉を頂いた。
- ・ 12月 キッズベースまつりに来て頂いた先生と話をした事をきっかけに学校に少しずつ通うようになった子どもが出てきた。
- ・ 1月 冬休み児童クラブではあんしんベース船引を訪問して地域のサークルの方の協力で七草粥や折り紙遊び等の交流活動を行った。
- ・ 1月 中学三年のフリースクールの生徒の多くが学校に行けるようになった。
- ・ 2月 一時預かりではリフレッシュでの預かりが多くなってきている傾向から母子への支援の必要性を感じる。
- ・ 3月 ひな祭りは一時預かり、フリースクール、児童クラブでひな祭りをみんなでお祝いした。

## 【利用者延べ人数】

行事名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一時預かり	90	39	56	68	90	51	55	58	64	61	71	95	798
児童クラブ	203	121	139	355	468	154	182	176	294	209	166	319	2,786
フリーS	140	189	239	140	31	159	193	161	136	142	175	131	1,836
みんなのキッチン	514	647	659	575	660	645	634	711	616	473	609	484	7,227

## 【 ほしくま児童家庭支援センター 】

- ・ 4月 「こども宅食助成金」を活用して食材や日用品等を購入して必要とする家庭へ提供した。
- ・ 5月 大町キッズベースの協力のもと一時預かりの利用につなぎ、当園自粛による母の休息環境を整えた。
- ・ 6月 連携機関に小原田にある「スパーク」大玉にある浪江教育委員会子育て支援課が加わった。
- ・ 6月 郡山市の総合相談課新人職員研修で4名の職員を受け入れて研修を実施した。
- ・ 7月 アウトリーチでの支援を継続していく中で、家庭の変化が見られた。最初は表情が暗かった。今では母の方から話が出てくるようになり母自身も変わったと自覚している。
- ・ 9月 こども宅食物資サポート事業では既に繋がっている機関との連携により127戸の家庭へ物資を提供した。その中で新規の相談が多数出てきている。
- ・ 11月 継続支援の相手に電話連絡をするが出ない時が多く心配している。顔が見れるように時間をつくり訪問するように計画し実施している。
- ・ 12月 一般社団法人こども宅食応援団を通してクリスマスケーキの提供があり支援家庭に届けることにより顔合わせになり繋がりを持てるようになる。
- ・ 2月 三春第1保育所の児童の母から日頃の心配事について相談を受け、三春町より要保護児童対策地域協議会への参加の要請があった。
- ・ 3月 厚生労働省の助成事業「全国子ども宅食実施団体への物資支援事業」に1月中旬にエントリーして決定された。

### 【利用者数】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理人数	32	15	10	10	10	15	20	6	6	6	5	4	140
継続相談人数		33	34	38	45	55	45	45	54	41	28	41	491
月別相談実人数	32	48	44	48	55	70	65	51	60	47	33	45	631

## 【ほしくまわくわくベース】

- ・ 4月 大町新複合施設開設にむけたプレ事業を展開する施設として開所し、オープニングセレモニーを開催した。大町新複合施設の情報を地域住民向けに説明会を実施した。
- ・ 4月 町内会とのつながりを深めるため近隣住民や各町内会長、商店街の代表者などへの挨拶並びに施設紹介を実施した。
- ・ 5月 様々な地域資源や財団の資源を活用し、イベントの企画、運営を開始した。
- ・ 6月 広報活動の一環として近隣商店や専門学校等に足を運び案内を行った。
- ・ 8月 ものづくり工房の試験的運用に向けワークショップの構築、新たな地域資源との関係形成を開始した
- ・ 9月 イベントへの出店を想定したワークショップの構築に着手し、イベントの企画、運営を開始した。
- ・ 11月 地域資源との協働企画の検討及び企画化を行った
- ・ 12月 県内ハンドメイド作家さんと協力しイベントを開催した。
- ・ 1月 商店街企業様の協力(紹介)から初回福祉協議会と繋がり、地元出身講師を招いたイベントを開催した。
- ・ 2月 大町商店街への加入承認を受けた。
- ・ 3月 大町商店街担当者に対して、令和5年度のイベントの相談、提案を行った。

### 【利用者数】

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
カフェ	110	246	320	273	263	217	197	157	153	164	175	147	2,422
制作物販売	6	5	9	6	0	5	7	9	6	4	7	2	66
ワークショップ	19	33	31	30	29	20	29	20	38	50	42	28	369
計	135	284	360	309	291	238	233	186	197	218	224	177	2,870

## 【ポラリス保健看護学院】

### ＜新型コロナウイルス感染症対応＞

- ・ 4月 新学期準備として教室の机配置、食事会場設営、消毒品準備を行った。学生に対し春季休暇中の体調確認を行い、実習期間前・中の行動制限、実習前PCR検査の必要性について、全学年に改めて周知した。校内に4学年が集中するため分散目的でオンライン授業を併用した。
- ・ 4月 令和4年度入学式(第25回生)を規模縮小で実施した。
- ・ 4月 今年度「with コロナ」における行事の開催方法について検討し、感染対策を講じた上で各種行事を集合型で開催することに決定した。
- ・ 4月 令和4年度家族の会総会をハイブリッド型で開催し会場22名Web9名が参加した。その後の学級懇談会には合計26名が参加した。
- ・ 7月 学院版新しい生活様式の内容を見直しし、実習期間以外の行動制限を緩徐する方向で内容変更を検討し、感染対策室の承認を得て改訂を行った。
- ・ 8月 職員のコロナ陽性者増加による業務ひっ迫を受けて、救急指定日応援として教員が1ST病棟勤務を実施した。
- ・ 8月 郡山市うねめ踊り流しが3年振りに開催され、不織布ひんやりマスク着用、ペットボトルホルダー装着等の感染対策を講じて参加し大賞を受賞した。
- ・ 9月 2～4年生が新型コロナウイルス4回目ワクチン接種を行った。
- ・ 9月 第24回生(2年生)35名のナーシングセレモニーを規模縮小で開催した。
- ・ 9月 北極祭の【体育祭】を3年振りに開催した。宝来屋体育館において全学年のたて割りチーム編成で開催し他学年との交流を図った。
- ・ 11月 令和4年度第1回ネクストホープ研修会がメグレスホールで開催され、会員校9校156名(当院は1年生29名が参加)がシンポジウムに参加した。コロナ感染拡大により午後のグループワークは中止となった。
- ・ 12月 令和5年度一般選抜入学試験を実施し、50名が受験した。(うち1名が濃厚接触者のため別室で実施した)
- ・ 3月 第22回生卒業式(14時～メグレスホール)来賓4名、保護者1家族2名まで、全校生参加の下開催した。卒業生は舞台上でマスクなしで参加し、式終了後、学院内でさよならパーティーも実施した。
- ・ 3月 令和5年度入学説明会を開催し新入生39名が参加した。今年度も保護者の参加は見合わせ、入学式後に補足の説明を行うこととした。
- ・ 3月 令和4年度 学生の新型コロナウイルス陽性者数は延べ40名であった。

### ＜通常事業＞

- ・ 4月 今年度入学の第25回生より新カリキュラムが適用となった。他学年交流の機会を増やすため、縦割り活動の年間計画を立てる。
- ・ 4月 春の防災訓練を実施し、地震・火災発生後の避難誘導、はしご車で屋上に避難した学生を救出する訓練を実践し救護班の「役割も学んだ。」
- ・ 4月 1年生31名が1泊2日の宿泊研修をヴィライナワシロ猪苗代にて実施、フィールドワーク、グループワークを実施し、仲間づくりや集団生活の中で自己の役割を果たすことの意義を学んだ。
- ・ 4月 令和5年度学生募集に関するパンフレット、募集要項、学校説明会の案内を県内外の高校約230校に送付した。
- ・ 4月 新たに地域交流サークル「Sirius」サークルを教員が立ち上げ学生20名が登録した。
- ・ 5月 自部署のWell beingの取り組みとして教職員が誕生日に有給休暇を取得できる「happy birthdayプラン」について共有し、教職員互助会費によるお祝いをする計画を開始した。
- ・ 5月 令和4年度臨床実習指導研修会(ポラリス・看護部主催)のオリエンテーションを開催し、8名が参加しグループワークを行う(エントリー者は11名)

- ・ 5月 公衆衛生看護学実習Ⅱ継続訪問（4年生）の講義で大町の民生委員4名の方による講話を実施した。
- ・ 5月 わくわくベースとのコラボレーション事業「綿花の花を植え、秋に収穫し、糸を紡ぐ」にSiriusサークル学生7名が参加する。
- ・ 6月 県内の高校13校を訪問し、進路指導の先生に訪問校出身学生の近況を報告し、今年度の入試の変更箇所やポラリスの特徴を説明し、受験生に情報提供を依頼した。
- ・ 7月 令和4年度「学校説明会」第1回目を開催した。定員40人とし計5回/年で実施予定。
- ・ 7月 3年生が公衆衛生看護管理Ⅰの演習の一環で三春町地域サロン（9か所）に参加した。
- ・ 7月 1年生が新科目「人間・健康・環境・看護を考える実習」の一環として三春町立三春病院にて入院体験を行った。
- ・ 9月 星総合病院および星ヶ丘病院の師長会、実習指導者会に出席し、新カリキュラムの特徴について説明し協力を依頼した。
- ・ 9月 令和4年度北極祭「体育祭」で実行委員会が市内の就労支援作業所5ヶ所に全校生と教員分の弁当を発注した。
- ・ 10月 3年生35名が宿泊研修を企画・実施した。雄国山トレッキング、野外炊飯、キャンプファイヤー、猪苗代湖畔ゴミ拾い、球技スポーツ等のプログラムを通して集団の中で自己の役割を果たし主体性・協働性を育んだ。
- ・ 10月 看護展望11月号、看護専門学校教員の働き方改革の特集に、教員が投稿した「教員スキルの暗黙知を対話で学び、最大限のパフォーマンスを発揮できるチームを目指す」が掲載された。当法人の事業目標「well being」の紹介をした。
- ・ 11月 4年生33名が、県内市町村10か所において公衆衛生看護学実習を実施した。
- ・ 11月 令和5年度特別選抜入学試験を実施し、高校生23名（既卒者1名含む）が受験し、そのうち合格者15名を決定した。
- ・ 12月 県看護学校協議会第4ブロックの公開授業当番校として、1年生の新科目「住民の自助と共助を支える」の公開授業を開催し5校11名が参加した。
- ・ 12月 令和5年度一般選抜入学試験（1回目）を実施し受験者50名、1月（2回目）に9名が受験した。
- ・ 1月 令和5年度一般入学選抜試験合格発表 合格者37名となった。
- ・ 1月 4年生国家試験受験壮行会を開催し、同窓会会長、教職員、OGより激励品が贈呈された。
- ・ 2月 各学年で授業参観を開催し、保護者計30名が来校した。
- ・ 2月 1年生が松下看護専門学校（大阪府）の1年生とZOOMで交流会を実施した。
- ・ 2月 第4回「こおりやまSDGsアワード」受賞（一般部門）表彰式に代表者が参加した。
- ・ 2月 4年生が国会議事堂・議員会館見学研修を実施し、31名が参加した。
- ・ 3月 令和4年度講師会議をハイブリッドで開催し42名が参加、学院の教育の特徴、新カリキュラムの概要、学習者の特徴、授業づくりについて説明した。
- ・ 3月 第22回生33名の国試合格発表があり、保健師・看護師国家試験に全員が合格した。
- ・ 3月 30日～4月3日、第23回生（新4年生）が小豆島研修旅行を実施し32名が参加した。小豆島の医療福祉施設を視察し、島内の地区踏査を実施した。